



藤田保健衛生大学 名誉教授
研究統括監理部 プログラムディレクター

ASANO Yoshizo 浅野喜造

専門医から 若手ドクターへの 提言

CAREER

臨床医ならではの研究課題に 取り組む

私の父は内科医で、軍の依託学生として医学部を卒業してから軍医として働き、病院勤務を経て開業していました。そんな父の背中を追って私も自然と医師を志すようになりました。私は1969年に名古屋大学医学部を卒業後、1年間外科で研修をしていましたが、当時の小児科は人数も多く活気があって、面倒見のよいおもしろい先輩も多かったので、2年目からは小児科に移りました。当時は学園紛争が盛んで、講義をす

るかどうかは学生が決めるという時代でした。医局員の人事についても、教授や医局長からの辞令ではなく、研修先での人のつながりや先輩・後輩など人間関係で赴任先を決めていました。しばらく関連病院や大学病院で診療をしていましたが、小児科学教室でも教授選に端を発した派閥争いがあったので、私は「早く大学から出たい」と思うようになりました。

そんなときに、社会保険中京病院(現・独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院)小児科の先生方に声をかけていただき、そこでお世話になることになりました。中京病院赴任後は、学生時代、自分がいかに不勉強だったかを痛感し、日常診療で扱う疾患を対象に